



2026年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年6月12日

上場会社名 グローバルスタイル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7126 URL <https://www.global-style.jp/corporate/company/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田城 弘志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 名本 育広 TEL 06-6206-2711
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年7月期第3四半期の業績 (2025年8月1日～2026年4月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年7月期第3四半期	9,489	8.3	717	△0.2	738	△1.4	473	2.1
2025年7月期第3四半期	8,764	4.6	719	64.8	749	60.3	463	55.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年7月期第3四半期	139.96	138.94
2025年7月期第3四半期	139.42	137.43

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年7月期第3四半期	8,648	3,291	38.1
2025年7月期	7,459	2,911	39.0

(参考) 自己資本 2026年7月期第3四半期 3,291百万円 2025年7月期 2,911百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年7月期	—	0.00	—	33.00	33.00
2026年7月期	—	0.00	—	—	—
2026年7月期 (予想)	—	—	—	47.00	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2026年7月期の業績予想 (2025年8月1日～2026年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,588	9.8	850	6.0	866	5.4	533	5.9	159.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年7月期3Q	3,502,744株	2025年7月期	3,502,744株
② 期末自己株式数	2026年7月期3Q	114,538株	2025年7月期	127,738株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年7月期3Q	3,382,480株	2025年7月期3Q	3,325,644株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期貸借対照表に関する注記)	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5
(セグメント情報等の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や堅調なインバウンド需要などを背景に、緩やかな回復基調が続きました。一方で、緊迫度を増すイラン情勢の影響による原油価格の上昇、円安基調に伴う物価上昇圧力が継続しており、先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社が属するオーダースーツ業界におきましても、物価上昇の影響による消費者の節約志向や円安に伴う原材料価格・商品仕入原価の高騰等により、厳しい事業環境が続いております。

こうした状況の下、当社におきましては、「Enjoy Order すべてのお客様にオーダーメイドを楽しんでいただく」のコンセプトのもと、積極的な事業推進に努めてまいりました。具体的には、新規出店や新商品・サービスの開発に加え、新たなマーケティング施策「ガチスーツ」の発信に注力しております。

まず、当第3四半期累計期間における新規出店といたしましては、10月に「GINZA Global Style COMFORT 吉祥寺店」、11月には「GINZA Global Style COMFORT ららぽーと和泉店」をそれぞれ出店いたしました。両店舗ともにオープン直後から多くのお客様にご来店いただき、順調な滑り出しを見せております。これらを含め、当第3四半期会計期間末の店舗数は計41店舗となりました。

商品開発におきましては、レディースブラウスやメンズダウンコートの展開に加え、究極の軽さを追求した新たなジャケットモデル「ZERO Like Model」の販売を開始いたしました。本モデルは、スーツ特有の窮屈さを排除した快適さと上品さを兼ね備えております。ビジネススタイルのカジュアル化や温暖化といった環境変化に対応し、「着ていることを忘れるような軽やかな着心地」を追求した本商品の投入により、既存顧客への新たな提案と新規顧客の開拓を並行して進めてまいります。

また、旺盛な訪日外国人需要を取り込むべく、「免税・海外配送サービス」を本格始動いたしました。免税システムの導入や公式サイトが多言語対応、英語対応可能なスタッフの配置などを通じ、海外顧客の受け入れ体制を強化しております。

さらに、新たなマーケティング戦略として「その場にふさわしい着」を「ガチスーツ」と定義し、プレゼンテーションやプロポーズ、結婚式といった「ここぞという場面(ガチ)」で着用するスーツとしての魅力を訴求しております。本施策の一環として制作し、SNS等で配信したショートドラマは、若年層を中心に大きな反響を呼び、10月の配信開始から4月末までの累計視聴回数は7,000万回を突破いたしました。これに伴い、新規顧客による購入も伸び、ブランド認知の拡大に大きく寄与しております。

以上のような取り組みの結果、売上高につきましては、94億89百万円(前年同期比8.3%増)となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、上記2店舗の新規出店に伴う人件費や地代家賃の増加、また、新たなマーケティング施策の実行による広告宣伝費等の経費が増加したことから45億25百万円(同8.8%増)となりました。

利益面につきましては、営業利益7億17百万円(同0.2%減)、経常利益7億38百万円(同1.4%減)、四半期純利益4億73百万円(同2.1%増)となりました。

なお、当社はオーダースーツの販売店舗を運営する事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ11億89百万円増加し、86億48百万円となりました。

流動資産につきましては、前事業年度末に比べ12億3百万円増加して、49億51百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が6億7百万円、売掛金が2億91百万円、原材料及び貯蔵品が1億93百万円増加したことによるものであります。

また、固定資産につきましては、前事業年度末に比べ13百万円減少し、36億96百万円となりました。

(負債)

負債につきましては、前事業年度末に比べ8億9百万円増加し、53億57百万円となりました。

流動負債につきましては、前事業年度末に比べ9億32百万円増加し、44億74百万円となりました。主な変動要因は、前受金が5億6百万円、買掛金が3億68百万円増加したことによるものであります。また、固定負債につきましては、前事業年度末に比べ1億22百万円減少し、8億83百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金が1億31百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前事業年度末に比べ3億79百万円増加し、32億91百万円となりました。主な変動要因は、前期の期末配当1億11百万円を実施した一方で、四半期純利益4億73百万円を計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年7月期通期の業績予想につきましては、2025年9月12日の「2025年7月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年7月31日)	当第3四半期会計期間 (2026年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	669,793	1,277,358
売掛金	323,714	615,415
商品及び製品	209,474	255,904
仕掛品	60,248	132,905
原材料及び貯蔵品	2,368,565	2,562,537
その他	127,055	121,178
貸倒引当金	△10,504	△13,432
流動資産合計	3,748,345	4,951,866
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,619,768	1,603,964
その他(純額)	992,147	964,750
有形固定資産合計	2,611,916	2,568,715
無形固定資産	111,691	109,122
投資その他の資産	987,235	1,019,042
固定資産合計	3,710,842	3,696,879
資産合計	7,459,188	8,648,746
負債の部		
流動負債		
買掛金	292,322	661,094
短期借入金	1,680,000	1,680,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	174,788	174,788
未払法人税等	185,209	142,990
契約負債	204,720	244,931
前受金	467,136	973,738
賞与引当金	-	34,863
役員賞与引当金	35,000	-
災害損失引当金	43,121	31,110
その他	439,347	511,005
流動負債合計	3,541,645	4,474,522
固定負債		
社債	10,000	-
長期借入金	547,190	416,099
退職給付引当金	58,651	67,535
資産除去債務	234,464	246,227
その他	155,722	153,173
固定負債合計	1,006,028	883,035
負債合計	4,547,673	5,357,558
純資産の部		
株主資本		
資本金	80,000	80,000
資本剰余金	134,687	147,070
利益剰余金	2,758,983	3,121,029
自己株式	△63,972	△56,911
株主資本合計	2,909,698	3,291,188
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	1,816	-
評価・換算差額等合計	1,816	-
純資産合計	2,911,514	3,291,188
負債純資産合計	7,459,188	8,648,746

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2024年8月1日 至2025年4月30日)	当第3四半期累計期間 (自2025年8月1日 至2026年4月30日)
売上高	8,764,014	9,489,320
売上原価	3,884,578	4,246,320
売上総利益	4,879,435	5,242,999
販売費及び一般管理費	4,159,966	4,525,250
営業利益	719,468	717,749
営業外収益		
受取利息	648	2,336
受取配当金	76	76
為替差益	6,461	-
賃貸料収入	62,672	68,952
物品売却収入	9,340	-
その他	1,446	3,695
営業外収益合計	80,645	75,061
営業外費用		
支払利息	25,108	24,679
賃貸収入原価	19,421	21,917
為替差損	-	4,936
物品購入費用	4,779	-
その他	1,401	2,611
営業外費用合計	50,710	54,144
経常利益	749,404	738,666
特別利益		
資産除去債務戻入益	7,010	-
特別利益合計	7,010	-
特別損失		
減損損失	27,280	-
固定資産除却損	0	0
事務所移転費用	7,240	-
特別損失合計	34,520	0
税引前四半期純利益	721,893	738,666
法人税、住民税及び事業税	269,713	288,232
法人税等調整額	△11,479	△22,986
法人税等合計	258,234	265,245
四半期純利益	463,659	473,421

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期貸借対照表に関する注記）

※ 当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行10行と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前事業年度 (2025年7月31日)	当第3四半期会計期間 (2026年4月30日)
当座貸越極度額	6,000,000千円	6,300,000千円
借入実行残高	1,680,000	1,680,000
差引額	4,320,000	4,620,000

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年4月30日)
減価償却費	187,104千円	191,159千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社は、オーダースーツの販売店舗を運営する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。